











植民地一同一家族の如く親密に

平和に物事を處理して行くので

有名なブルデンテ日本人會第一

支部三共植民地では、去月廿三

日日會文部の定期總會を開催せ

るが役員改選の結果左の諸氏當

選した。

會計書記

學藝部長高橋甲太郎

労動部長本田滿

運動部長奥田末義

衛生部長中野廣義

長森喜雄

高橋甲太郎

中野廣義

前はマットである。亞熱帶の見通しの利がない林が岡なしつかり抱きしめて居る。只前畠は密林である。

さうした所に私の住んで居る唯一の文化の接點の停車場が立つてゐた。鐵道が二筋列車の出番時用に數いである。この駅へ起きた木焼瓦のアーチトオームと一株の駅の植物がこの停車場の凡てである。汽笛に給水するタンクが不釣合なものだけではなく、その町の匂いが大きくて導体機のそばにそびへて居る。

一日に往復する列車は数回である。いつも眠つて居る機械の聲もその數回だけは一人人が眼をぱく。

阿賀宇生

遠くの町から来る列車は、その町の匂い新しさ運信物など此の駅に運して行く。

山の中の人々は、それらを受けとつて文化人としての心の動悸を感じる。

夕方町へ行く列車位、人々の心な好奇

人の心を種みされた駅へ出て行く。

最後尾の駅監事の見にくくなる迄村の

にするものは無いであらう。

只文化などを、駅はしさのみをその胸に蓄しながら。

此の駅に用事のない旅人は山の中の

人が百萬人も住む都へ行く列車は勢込

てある。この駅へ起きた木焼瓦のアーチト

化さの接點の停車場が立つてゐた。

鐵道が二筋列車の出番時用に數い

ある。この駅へ起きた木焼瓦のアーチト

である。この駅へ起きた木焼瓦のアーチト

オームと一株の駅の植物がこの停車場

の凡てである。汽笛に給水するタンクが不釣合なものだけではなく、その町の匂いが大きくて導体機のそばにそびへて居る。

オームと一株の駅の植物がこの停車場

の凡てである。汽笛に給水するタンクが不釣合の

ものだけではなく、その町の匂いが大きくて導体機のそばにそびへて居る。

ひき新聞を運信物など此の駅に運して行く。

山の中の人々は、それらを受けとつて

文化人としての心の動悸を感じる。

夕方町へ行く列車は、町にあこがれる

人々の心を種みされた駅へ出て行く。

最後尾の駅監事の見にくくなる迄村の

心だけが運んで居る。

只文化などを、駅はしさのみをその胸に蓄しながら。

此の駅に用事のない旅人は山の中の

寒祭など、駅の名だけ位を放りつれづれに

乗つて居る人々凡て互が近くに居る

口にする位であらう。

然し村の人々は、此の駅を通り汽車に

乗つて居る人々凡て互が近くに居る

口にする位であらう。

此の駅に用事のない旅人は山の中の

寒祭など、駅の名だけ位を放りつれづれに

乗つて居る人々凡て互が近くに居る





